

尾瀬ハートフルホーム・システム（ホームステイ制度）について

令和6年度版

1 システムの目的・概要

尾瀬高校は、平成8年に自然環境科を設置し、尾瀬をはじめとする豊かな自然を背景に、自然環境に関する学習を基盤として、人間と自然との関わりについて理解を深め「自然との共生」を図ることのできる人づくりを目指すとともに、体験学習や地域等との連携・交流を通じた心豊かな人づくりを目標にして、コミュニケーション能力・自己表現力を高め、実社会で通用する力を身に付けた人間の育成を目指しています。

群馬県は、このような自然環境科の特色ある学び（課外活動での環境に関する体験学習を含む）を希望する生徒を全国から受入れています。そして、自宅から通学困難な生徒（通学時間が2時間以上）に対して、地元的一般家庭等（民家や元民宿）に受けながら通学するという「尾瀬ハートフルホーム・システム制度」を発足させました。

生徒を受け入れる家庭のことを「ホストファミリー」といい、ホストファミリーから群馬県が部屋を指導費込みで借り上げ、生徒1人につき1部屋を月額1,000円で貸し出すという形をとっています。また生活アドバイザー（巡回指導員）を週4日間配置し、生活のサポート（相談を受け、助言・調整）をします。

このようにこのホームステイシステムは、一般のアパートや間借りでの生活とは違い、尾瀬高校の教育活動の一貫と位置付けられています。この制度を利用する場合は、趣旨をよく理解し、積極的に環境関連行事に取り組んでください。また、多くの人と交流できるような模範的な生活態度を養い、ホームステイ生徒としての自覚を持って学校生活を送ってください。

2 実施事業

(1) 保護者会（5月下旬）

P T A総会にあわせて開催し、保護者同士の情報交換等を行う。

(2) ふれあい交流会：公開講座・尾瀬探勝会(夏季休業中に2日間開催)

本校の教育及び施設を一般に公開し、地域社会と交流する機会を確保する。ホームステイ生徒や保護者は当講座を通して、他のホームステイ生徒や地域住民とふれ合う機会とする。また、ホームステイ生徒、保護者、ホストファミリー、学校職員等が参加し情報交換等を行う。2日目は尾瀬探勝会を行う。

(3) 宿舎整備

ホストファミリー（生徒が下宿する一般家庭や元民宿）を学校で確保する。

(4) ホームステイ指導

生徒が健康かつ安全に生活することができるよう、基本的な生活習慣についてホストファミリーや生活アドバイザー、学校職員などが保護者と連携して行う。また、ハートフル生徒集会を年間に数回実施し、生徒同士の情報交換などを行う。

3 定員及び対象

(1) 自然環境科に在籍する生徒

(2) 環境学習に意欲的に取り組みたい生徒で、通学困難な生徒（①利根沼田地区以外の県内の生徒 ②県外の生徒 ③利根沼田地区内の生徒で、通学に公共交通機関を利用して2時間以上かかる生徒（概ね、朝6時半以前に家を出ないと始業時間に間に合わない、又は、17時以降に学校を出ると帰宅できない生徒））を対象とする。

4 ホストファミリーへの入居

ホストファミリーは、学校の近くだけでなく、学校から離れた場所（車で5～20分程度）にもあります。ホストファミリーの決定にあたっては、学校からの距離、バスの便などの条件が違うため、抽選により決定します。

原則として1ホストファミリーにつき1名～5名の生徒が、3年間同じホストファミリー先に入居しています。（状況により、5名以上になる場合もあります。また、入学人数や男女比によって、毎年移動の可能性ががあります。）

5 費用

- (1) 部屋代 ・ 県が部屋を借り上げホームステイ生徒に月額1,000円で貸し出します。
(就学支援としての免除制度あり)
- (2) 経費 ・ 月額約**4万8千円**(1日3食・昼食弁当、電気、水道代等)長期休業中も同様。
- (3) 暖房費 ・ 冬季は暖房器具を使用するため、暖房費を負担します。(11月～翌年4月)
・ 費用は部屋の広さや暖房器具などの条件により異なるため、統一的に金額は定めていませんが、目安としては月額約**5千円**です。
- (4) 通学費 ・ バス通学生徒はバス代を個人負担します。
・ 片品村に居住する場合は通学定期券購入補助金の交付を受けることができます。
※所要時間(学校までの時間) 鎌田:10分程度、越本:20分程度

6 参考データ [令和6年8月現在]

- (1) システム利用生徒数

| | 男 | 女 | 計 |
|----|----|---|-----|
| 1年 | 9 | 1 | 10名 |
| 2年 | 11 | 4 | 15名 |
| 3年 | 7 | 2 | 9名 |
| 計 | 27 | 7 | 34名 |
- (2) ホストファミリー所在地 ・ 沼田市利根町…1戸 片品村…9戸 計10戸
- (3) 1戸当たりの生徒数 ・ 1名(2戸) 2名(1戸) 3名(3戸) 4名(1戸) 5名(2戸)
6名(0戸) 7名(1戸)
- (4) 通学方法(生徒数) ・ 徒歩(2名) バス(32名)
- (5) 出身地 県内19名 前橋市 高崎市 太田市 桐生市 みどり市 伊勢崎市
吉岡町 甘楽郡
県外15名 北海道 茨城県 栃木県 埼玉県 東京都 神奈川県
静岡県 奈良県 兵庫県
- (6) 理科部 理科部は環境関連行事を中心とした様々な体験活動に参加する部です。「調査・研究」と「交流・体験」の2つの柱で活動しています。ハートフル生徒のほぼ全員が入部しています。

7 説明・相談会(志願する前に必ず参加してください)

中学生を対象に含む学校主催の行事にあわせて説明・相談会を実施します。その他の機会に説明や相談を希望される方は学校までお問い合わせください。なお、学校行事の開催時期についてはHPを参照してください。説明・相談会の内容は以下のとおりです。所要時間は1時間程度です。

- (1) 自然環境科について
 - ①学習内容(環境専門科目や他教科の授業内容・単位数など)
 - ②卒業後の進路(過去の進路実績や在校生の進路希望など)
 - ③入学試験(前期選抜・後期選抜)
- (2) 尾瀬ハートフルホーム・システムについて
 - ①システムの目的・概要
 - ②関連事業(ふれあい交流会、夏季公開講座など)
 - ③費用に関すること
 - ④入居先の決定方法
 - ⑤システム利用者(生徒・保護者)の「心得」
- (3) 個別相談(希望があれば)

8 ネイチャークラブの実施

説明・相談会とは別に、毎月第3土曜日にネイチャークラブという活動を開催しています。これに参加し、本校の様子を見学していただくことも可能なので、希望される方はお問い合わせください。なお、今年度のネイチャークラブの開催についてはHPを参照してください。

9 問い合わせ先

群馬県立尾瀬高等学校 自然環境科 尾瀬ハートフルホーム・システム係(ハートフル係)
〒378-0301 群馬県沼田市利根町平川1406
TEL: 0278-56-2310(学校代表)
FAX: 0278-56-3720
電子メール: oze-hs01@edu-g.gsn.ed.jp(自然環境科代表)